



5月9日より制服登園が始まります。

毎日 元気一杯に遊び、汗を流している子ども達。間もなく始まる着替えに『自分で着替えられるのかな』『困らないのかな・・・』等、園での子ども達の様子を気にされることと思います。

子ども達の負担を減らし、個々の子どもさんの状況に応じて手助けを行い『出来た！！』という喜びを大切に、少しずつ子ども達の手で行えるようにしていきたいと思ひます。

子ども達の混乱をなくす為、ご家庭と園で同様の方法を進めていきたいと思ひますので、園での指導方法や歴代の皆様のアイデアをお知らせします。

参考にして頂き、制服登園が始まるまでに見直しをお願いします。

## <ズボン・スカート>

子ども達が一番 難しく感じる点は・・・

皆様のアイデア♪

### 『紐が絡まって履くことが出来ない』

前のボタンは外さず床に置き、ボタンの部分を持ち、前後を確認し履くようにしています。



- ・後ろの紐がクロスしている部分をボタンなどで縫い付け絡まらない工夫をされています。



### 『スカート横のボタンが外せない』

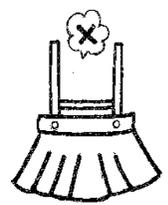
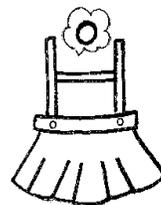
制服が新しく硬く、上手にボタンを外す事が出来ない姿も見られます。



- ・マジックテープに替え、扱いやすくされています。マジックテープでも安易に外れることはありません。



- ★ また、紐が長すぎたり、横紐が下すぎていると肩紐が落ちてしまいます。  
紐の長さ、横紐の位置の見直しをお願いします。



## <ブラウス>

### 『ボタンを上手にとめられない』

- ・まずは、一つだけでも自分で留められる様にし、個人の状況にあわせて数を増やしていこうと思います。  
難しい一番上のボタンを留めてあげることで、子ども達の負担も減ります。
- ・ボタンが留められるようになっても段違いになってしまう事が良くあります。  
上のボタンは見えにくく、襟が中に入っていると段違いになっても気付きにくいものです。  
そこで園では、**一番下から留める**ように指導しています。



### お母さまアイデア♪

ボタンとボタンホールに同じ色の刺繍をすることで、段違いにならない工夫をされています。

### STEP UP!!

- ★ 一人で着替えられる様になれば裏返しになった袖を返す方法や、裏返しにならない脱ぎ方も教えてあげてください。

## <お願い>

- ①制服（**ブラウスにも必ず!**）、体操シャツ・ズボンにしっかりと名前を記入して下さい。  
複数お持ちの方は、全て記名されているか確認してください。又、ご兄弟やご近所から頂かれた物も、必ず名前を書き替えて下さい。未記入のブラウスがあった場合、着替えられない子どもさんがいます。
- ②体操シャツ・ズボンの紐を必ずつけて下さい。  
脱いだ服はロッカーに掛けて管理するように指導していきます。  
(太くて少し長めの方が掛けやすいです。)
- ③体操シャツ・ズボンは手提げかばんに直接入れて下さい。  
体操服を別の袋に入れ、手提げかばんの中に入れて頂いている方がいますが、スムーズに着替えが出来るとなりたいと思いますので、別の袋に入れない様にして下さい。
- ④手提げかばんを持ち帰った際は、必ず翌日に持たせて下さい。  
脱いだ制服を手提げかばんに入れてロッカーに置いたり、大きな持ち帰りの物を手提げかばんに入れる事もあります。
- ⑤ポケットティッシュは持って来ないで下さい。保育中に友達と見せ合うなどし、活動に集中できないことがあります。お部屋にティッシュがありますのでご安心下さい。



## <生活面>



少しずつ、色々な事が出来るようになり始めた子ども達。様々な事を体験・経験することで、子ども達は大きく成長致します。

そこで、ご家庭での子どもさんとの関わりも見直して頂ければと思います。何事においても、すぐに『出来ない』と弱音を吐いてしまう事があると思いますが、**その際にすぐに手を差し伸べるのではなく、自分で出来るようにコツや仕方を伝え、時には出来るまで見守ってあげることが大切だと考えています。**そして、出来た時には大きく褒めてあげてください。

例えば・・・こんな姿はないですか？

### ★ お迎えの際、子どもさんの靴を靴箱から取り出し置いてあげたり、履かせてあげる

- ・幼稚園では『靴箱から出す』『綺麗に入れる』等 全て自分で行っていきます。また、靴も自分で履く事を求めています。靴が左右反対にならないように、中の星のマークも意識する様伝えていきます。

### ★ 登園時や降園時に、子どもさんのリュックを持ってあげる

- ・幼稚園では、出来る限りの範囲で自分の物は自分で持ち、管理しています。また、まだ一人で背負う事が出来ない子どもさんが数名いますので、背負わせてあげるのではなく背負い方のコツを伝えてあげてください。

### ★ ご家庭での食事の際に、食べさせてあげる

- ・幼稚園では、自分で箸を持ち食べています。そうすることで、箸の扱いが上達してご飯粒を集めることが出来るようになったり、お椀を持って食べることが習慣づきます。食べさせないと時間が掛かってしまう・・・声を掛けても自分で食べない・・・などと色々な状況がある事と思いますが、根気強く関わって頂きたいです。また、ナフキンとお箸は大きい袋、コップは小さい袋に入れる事をご家庭でも再度、確認してあげてください。

出来ないから「〇〇してあげよう」、失敗したら可哀想だから「〇〇しておこう」と保護者の方がする事で、子どもさんの力を伸ばすチャンスを妨げてしまうこととなります。**何事も自分で行う機会を与え、個々の力を伸ばしてあげて頂ければと思いますので、ご家庭でも赤ちゃん扱いせずに関わって頂きます様、宜しくお願い致します。**